

巖木中学校 学校便り

整美部 副部長
岡 志穂さん

令和2年 11月4日



巖木中教育目標

「主体的、協働的に取り組む生徒の育成」

文責：校長 古舘洋治

1 文化発表会 大成功！

<テーマ>

『生きる』Youth road ～開け 青春の1ページ～

※実行委員長あいさつは、裏面に紹介

オープニング

生徒総会で出現した悪魔が再び登場しました。その悪魔が日常生活のある出来事で天使に変身するストーリーでした。考えさせられるムービーでした。



画：榎あま

1年劇「不思議の国の…」

自分勝手な女の子が、不思議の国で体験をする中で、これまでの自らの言動を振り返る劇でした。



給食部「世界の給食と食べ残し」

世界の給食を紹介しながら、文化の違いを伝えてくれました。また、残菜についても報告がありました。みんなの体をつくっている食べ物について考えるいい機会となりました。

2年「職業講話で学んだこと」

パワーポイントで説明するなかに、クイズや寸劇を入れて、事業所ごとに工夫した発表をしました。2年生はもちろん3年生と1年生にも近い将来の働くことへの意欲付けとなりました。



図書部「詩『生きる』(谷川俊太郎)の群読」

何気ない日常のなかで「生きる」を意識させる時間となりました。この何気ない日常を大切にしたいですね。(裏面に紹介)

各学年 合唱

学年とともに、表現のレベルも上がり感心しました。さすが3年生！1年生も2年生も3年生に勝るとも劣らなくなってくれるものと期待しています。



全校合唱

今回は、新型コロナウイルス感染症防止対策のために前撮りをして、みんなで鑑賞することとなりました。3年生がリードしている姿がすばらしかったです。

3年劇「佐賀 特攻隊物語」

平和学習・集会の際に調べて学んだこと、修学旅行の際に見聞きしたこと、新たに準備したものでできた劇でした。誰もが、平和に生きることを考えさせられる心に訴えるすばらしいものでした。



展示物

どの展示物も学校の教育活動の中で制作されたものです。子供たちの気持ちのこもった作品ばかりでした。



講評

すばらしい文化発表会でした。今日のためにいろいろな準備してきたからこそ、できた今日だったと思います。ステージでスポットライトを浴びた人もいれば、それを支えるための活動をしてくれた人もいました。みんなの力が合わさってできたものでした。お互いを称え合いましょう。

文化とは考え方や価値観、習慣、個性(アイデンティティ)、信条、道徳、習慣などのセットで、人は生まれたときから死ぬときまで文化の担い手として文化を身に付けます。多くの場合、人は文化の要素を無意識に学び、文化や社会のメンバーとして無意識に行動します。

文化は人が集まればどこにでも存在します。様々な理由によって文化は常に変化します。他の文化からの影響によって文化が変わり、社会の内側からも文化が変わり、また環境が変化することによって文化も変わります。

さて、みなさんが身に付けている文化とは何でしょうか？そして、表現できる文化とは何でしょうか？この先、未来の文化はどうあるべきなのでしょう？

今回はみんながもっている文化を『生きる』というテーマをよりどころとして、表現しました。そして、それを表現したり、鑑賞したりすることで、未来の文化はどうあるべきかも考えたのではないのでしょうか。その未来の文化を創り上げるために今から…今できることからやっていきましょう。

今日は皆さんのこれまでの努力の成果を見届けることができ、とても幸せな気持ちになりました。

2 植田伸子ピアノリサイタル！

10月31日(土)13:30～プロのピアノ演奏を聴きました。

1990年に KBC 九州朝日ラジオ放送で植田さんが「月光」を演奏されたことが映画「月光の夏」の一連のブームのきっかけとなったそうです。今回特別に「月光」のすべての楽章を演奏していただきました。その他、耳にしたことがある曲で、エピソードを添えてのコンサートでした。



3 暴力団排除教育講話を実施！

11月2日(月)13:40から警察本部から講師の方をお招きし、暴力団の実態や被害などについてお話を伺いました。私たちの身近に、暴力団が予想以上に影響を及ぼしている現実を知らされました。暴力団に関わらないことや、何かあれば警察に相談することだけではなく、「社会のルールを守ることが、自分を守ることに繋がっている」ということを強く心に留めて生活していかなければならないと感じました。

「実行委員長あいさつ」

学芸部部长 宮原 若菜さん

文化発表会のテーマは……

『生きる』

スローガンは「Youth road
～開け 青春の1ページ～」です。

「Youth road」とは「若者の道」という意味があり、このスローガンには「学びを通して 青春をつくっていく」という願いが込められています。

今年は、新型コロナウイルスの影響で、いろいろと制限の中での活動になりました。そんな中でも、巖木中の皆さんは、各クラスの発表や合唱、専門部の発表などの練習を一生懸命がんばってきました。約3週間という期間で、どのような発表になっているか、とても楽しみです。後方には、皆さんのスケッチや川柳など、個性あふれる作品があります。是非、多くの作品をみてください。

密には気を付けて、楽しくて、学べる、巖木中学校の創立100年目の歴史に刻まれる文化発表会にしましょう。

「生きる」

谷川 俊太郎さん

生きているということ
いま生きているということ
それはのどがかわくということ
木(こ)もれ陽(ひ)がまぶしいということ
ふっと或るメロディを思い出すということ
くしゃみすること
あなたと手をつなぐこと

生きているということ
いま生きているということ
それはミニスカート
それはプラネタリウム
それはヨハン・シュトラウス
それはピカソ
それはアルプス
すべての美しいものに出会うということ
そして
かくされた悪を注意深くこぼむこと

生きているということ
いま生きているということ
泣けるということ
笑えるということ
怒(いか)れるということ
自由ということ

生きているということ
いま生きているということ
いま遠くで犬が吠えるということ
いま地球が廻っているということ
いまどこかで産声があがるということ
いまどこかで兵士が傷つくということ
いまぶんこがゆれているということ
いまいまが過ぎてゆくこと

生きているということ
いま生きているということ
鳥ははばたくということ
海はとどろくということ
かたつむりははうということ
人は愛するということ
あなたの手のぬくみ
いのちということ